



「第41回 お医者さんと話そう」が開催されました

地域医療連携室



1月28日(木) 18:30～ 十和田市内「ハピたの」にて～第41回お医者さんと話そう～が開催され、総合内科の外崎医師が出演しました。

コロナ禍であるため少人数、飲食なしをお願いしたにも関わらず沢山の市民に来場いただきました。



今回のお題は「食べられなくなってきた～イトロス～」をテーマに講演されました。外崎医師からは「口から食べることが寝たきりや認知症の予防にも繋がる、食べる事の楽しさを皆で考えて行きましょう。もし食べられなくなってきたなぁと感じた時は周りの誰かに相談して欲しい、誰に相談したら良いか判らない時は中央病院の外崎まで電話して貰って構わない」と市民目線でお話を展開されていました。



十和田NPO子どもセンター「ハピたの」代表理事 中沢羊子さん



「臓器移植に係る研修会」開催

業務課 佐々木政人



鈴木旬子氏



岩崎雅子氏

テーマ「心停止下臓器提供の流れ
～初動についてシミュレーションで体験～」

1月29日(金)に教育研修・接遇・広報委員会の主催で、「臓器移植に係る研修会」を開催しました。

講師には青森県臓器移植コーディネーターの鈴木旬子氏と岩崎雅子氏をお呼びし、前半は心停止下における臓器提供の流れについてお話しいただき、後半はその初動についてシミュレーションを行いました。シミュレーションでは、一部参加者にそれぞれ「患者家族」「病院職員」「県コーディネーター」を演じてもらい、実際に想定されるやり取りを行ってもらうなど、大変有意義な研修会となりました。

この研修では人数を制限しての開催としましたが、参加できなかった院内職員向けに、後日この様子をウェブ視聴できるようにします。





当院初期研修医が 「第82回日本臨床外科学会総会 研修医 Award」を受賞しました！

当院初期研修医2年目の右田修介先生が、第82回日本臨床外科学会総会において「壊疽性胆嚢炎を発症した胆嚢原発神経内分泌癌の一例」を発表し、その優れた研究成果が認められ、みごと「研修医 Award」を受賞しました。おめでとうございます！



指導医の藪内伸一診療部長（左）と。



右田修介先生 受賞の言葉

ご報告が遅くなりましたが、第82回日本臨床外科学会で研修医 Award を獲得いたしました。多くの研修医の発表の中から選んでいただき、非常に光栄です。忙しい日々の診療の合間を縫ってスライドの添削・指導をしてくださった外科の先生には感謝の念に尽きません。2回目の学会発表で、慣れないスライド作りは大変でしたが、見やすいスライドについて考える良い機会となりました。また、疾患そのものについて文献にあたって調べるといふことの大切さを学ぶこともできました。今後も日々の診療の中で一例一例を大切に、新たな発見や稀な疾患に出会った際には是非論文を作成したり、発表していきたいです。

今年もおひなさまを飾りました。

まだ寒い日が続きますが、ご来院の皆さまに少しでも春を感じていただけるよう、今年も看護局長、副局長、師長たちが心を込めておひな様を飾りつけました。エントランスのローソン入り口横にお目見えましたのでぜひご覧ください。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>